



2013-2014 年度
国際ロータリーのテーマ

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

5月

2013-2014 Rotary International District 2760

- ガバナーメッセージ…① / 「みんなに豊かな人生かどうか考える月間」に寄せて…② / 記念式典…③
第2回地区内クラブ青少年奉仕委員長会議 報告…⑥ / 地区RYLAセミナー報告…⑦ / 四地区合同、スキーイベントについて…⑧
2014-15年度地区研修・協議会のための指導者会議報告…⑨ / 2014-15年度地区研修・協議会報告…⑩ / ローターアクト海外研修報告…⑪
次年度のための地区RA研修協議会…⑪ / 2013/2014年度 VTTプロジェクト-3780地区への医療研修チームの派遣…⑫ / 国際ロータリー第2520地区大会参加を振り返って…⑬
WFF ワールド・フード+ふれ愛フェスタ 決算報告書…⑭ / 分区紹介…⑮ / 文庫通信…⑯
ロータリーの〈ブランドの強化〉を継続して推進しよう…⑰ / よもやま話…⑱ / 編集室だより…⑲ / 会員数及び出席報告…⑳

ガバナーメッセージ

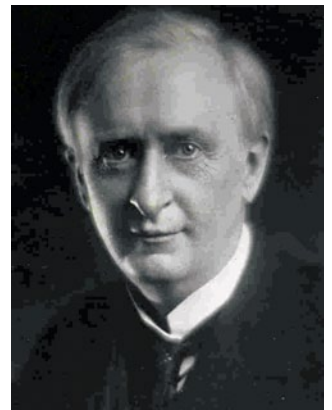
- みんなに豊かな人生かどうか考える月間 (地区)
- 環境保全週間 (地区 5/30 ~ 6/5)

みんなに豊かな人生かどうか

ガバナー 田中 正規

この年度もあと2ヶ月を残すのみとなり、次年度のテーマ「ロータリーに輝きを」が発表されました。新しいテーマが勢いを増し、「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」が、忘れられていくかもしれません。皆さんは過去の各会長の年度のテーマを覚えていますか？しかし私にとってはロンバートン RI 会長の提唱した今年度のテーマは重要で、深い意味を持つものと思っています。すなわちシェルドンが発表したロータリーの第2標語「最もよく奉仕するもの 最も多く報いられる」と同じであると RI 会長が私たちがガバナーに説明したからです。更に身近にお会いして素晴らしい先見性と誠実さと品位を備えた方と直感しました。そして私は納得し、そのテーマを推進する強い意志を持ちました。皆さんにロータリーの使命である「世界でよいことをしよう」といろいろなプログラムにチャレンジを呼びかけました。私たちがよく奉仕すれば、人々から尊敬されるイメージが得られます。私たちのために奉仕してくれる人はいません。奉仕は私たち自身でしなければなりません。ロータリーは停滞することはできない、静止することもできない、絶えず前進しなければなりません。常に「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」です。

各クラブの会長・幹事さんにはそろそろ1年間の評価と、それに向けての追い込みの事業の完成に向かわれているものと推察します。今月は「みんなに豊かな人生かどうか考える (地区の月間)」であります。そしておそらく私を含め大変満足できる年であったと思います。あともう少し。皆さんのご努力に敬意を表します。



アーサー・フレデリック・
シェルドン



豊かな人生、人生成功への道

RI2760地区 副ガバナー 松前 憲典



「みんなに豊かな人生かどうか考える月間」にあたり、どうしたら豊かな人生を過ごすことができるのかを考察をさせていただきます。

豊かな人生を過ごすには、人生成功への道を進むべきだと思います。

明るく建設的な人生観、健康生活、そして努力の積み重ねが大切であります。知識は、成功のための最大の武器になるのであります。

人生成功のポイントは、積極的思考と自助努力であります。発展、豊かさ、成功には法則があります。

- ①光明的な生き方をする。これは、成功する人間の出発点であります。明るい心、建設的な心、そういう心を持っていればこそ、人びとは集まってくるのであります。
- ②魅力的な人間になることであります。
魅力的な人間とは、人を惹きつけるような、そういう性格を持った人をいいます。他の人から尊敬を勝ちとることが出来る人であり、他の人から評判がよい人であります。
 - i) 実力のある人
 - ii) 能力の高い人
 - iii) よく努力する人、蓄積のある人
 - iv) 他人をリードしていける人
- ③健康であること、朗らかであること、人びとの間に葛藤がないこと。
- ④自助努力の精神。どのような種をまき、どのように育てるかによって、それぞれの人が手にする結果が異なってきます。
- ⑤これからの社会の傾向を見抜く力が必要であります。情報社会が、より高度化してきます。時代の方向性、未来の傾向（トレンド）に敏感になることであります。即ちこうした未来・志向型の情報センサーを持っていることが必要であります。
- ⑥日々精進努力。
「心の中に起きたもので、善なるものを伸ばし、悪なるものは切り捨てていくという強い決意のもとに、日々精進することです。これが判断力と交渉力や説得力というものになって現れてきます。

成功する人間は、「成功する心の持ち方」に他ならないのであります。

蒲郡 RC60 周年

会長 金原 久雄

我がクラブは 1954 年豊橋クラブを親クラブとして、県内 9 番目のクラブとして発足し、60 周年を迎えました。還暦の年を迎え、会員一同、『形と心に残る奉仕』をテーマに奉仕事業を展開しました。

世界社会貢献事業としては、元米山奨学生の縁を頼りに、ガンボジアに 3 つの事業を展開しました。①寒村に井戸を掘る事業。②シェムリアップ近郊に学校建設に協力する事業。③プノンペン市に救急車を贈る事業です。(写真はプノンペン市長に目録の寄贈式の風景です)

市民サービスでは、介護認定で忙しくなった蒲郡市社会福祉協議会にナビつきの軽自動車を寄贈しました。又、子供たちに夢を与えることを目的として市内の公園に、大型複合遊具を寄贈しました。

心に残る事業は、直木賞作家の浅田次郎さんを招いての「時代小説の基礎知識」を開催し、市内外より 1300 人余が視聴しました。

60 周年記念式典、祝賀会は 3 月 29 日に田中正規ガバナー、赤井知久ガバナー補佐をお迎えして開催しました。

姉妹クラブである基隆南 RC、小松 RC を始め関係各位 60 名の方に祝っていただき感謝しております。

米山記念奨学会・ロータリー財団に 60 周年に因んだ 6 の数字の特別寄付をしたところ、田中ガバナーからはサプライズと喜んでいただき、今後の期待を込めたご挨拶をいただきました。

祝賀会では、鏡割りの後、賑やかな祝宴が続き、今後の奉仕活動を心に誓った一夜でした。



岡崎南 RC50 周年

幹事 志賀 為宏

岡崎南 RC の創立 50 周年記念式典が、岡崎ニューグランドホテルで、特別来賓に内田康宏岡崎市長、中山義隆石垣市長、来賓に田中正規ガバナー、梅村憲一ガバナー補佐はじめ多くの皆様をお迎えし、また姉妹クラブのアメリカ、ニューポート市よりバルボア RC の 6 名、親善クラブの石垣 RC より 20 名、本年より親善クラブとなったいわき勿来 RC より 3 名の参加を戴き盛会に開催することが出来ました。

記念事業として、原発事故で屋外で遊べない福島の子供達やいわき勿来 RC のご尽力で福島県立磐城農業高校、県立いわき総合高校の IAC の 13 名の参加を戴き、岡崎の花火や BBQ を楽しんだり、岡崎城西高校の IAC と共同で、視覚障害者の自立支援をサポートした「遊びにおいでんプロジェクト」を実施しました。他には自然科学研究機構に「仲良しの像」の寄贈、岡崎市立美合小学校ホタル保存活動への助成、岡崎城西高校 IAC にデジタルカメラ寄贈、本年度より当クラブが RCC として提唱した視覚障害者自立支援「愛ポート '05」へ点字プリンター贈呈、ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付、ホームクラブ 100%出席例会、青少年の健全な体育活動を助成する体育振興基金を取り崩して岡崎市に全額寄付するなどを実施したことを発表しました。

50 周年を機に当クラブが益々発展出来ますよう一層の努力する所存です。関係者の皆様に衷心より御礼申し上げます。





記念式典

春日井RC45周年

実行委員長 名畑 豊

4月11日(金)、春日井市のプラザ勝川にて45周年式典が開催いたしました。春日井市長をはじめ、多くの関係団体からのご来賓と東尾張分区、11ロータリーの会長、幹事のご臨席をいただきました。

春日井ロータリーは、1969年4月28日に小牧ロータリークラブ様をスポンサーとして、創立いたしました。この45年間、ロータリークラブの理想とする「超我の奉仕」の精神に基づいて会員共々研鑽に努め、地域社会及び国際社会において積極的に活動してまいりました。

45周年の記念事業として、五つの記念事業を行いました。最初にサボテンの鉢植え大会ですが、春日井市は全国の70%近くのサボテンの苗木を生産しています。そのために、サボテンは市のシンボルとなっています。2番目の「ニュートンのリンゴの木」はみなさんご存じだと思いますが、ニュートンの見たリンゴの木の子孫が東京大学付属小石川植物園にあり、そこから苗木を分けていただき、春日井市の緑化植物園に植樹を行いました。3番目の「あしながおじさんプログラム」はフィリピンの中学生一人に、一人の春日井ロータリーのメンバーが奨学金を出すシステムです。現在は、フィリピンの奨学生は17名になりました。4番目のフィリピンセブ島の小学校に水洗トイレを寄贈しました。この事業は、フィリピンの二つのロータリークラブのご協力をいただき、完成することができました。そのご縁で、友好ロータリーの締結を行いました。



春日井市にニュートン林檎の木助成金



RC来賓会員紹介

名古屋守山RC50周年

名古屋守山ロータリークラブ 会長 木村 隆之

2014年4月16日名古屋マリオットアソシアホテルにて創立50周年記念式典を開催いたしました。当クラブは1964年、名古屋北ロータリークラブをスポンサークラブとして発足いたしました。おりしも東京オリンピック開催の年。日本がまさに高度成長期に向かわんとする時代、チャーターメンバー26名はクラブの創設に大志を抱き、将来の日本に超我の奉仕の理想を重ね大なる希望と展望を持ったことでしょう。

50周年記念事業として当クラブの特徴である地域密着社会奉仕活動として「東谷山フルーツパークへ枝垂れ桜の植樹並びに備品の寄贈」「守山区民まつり協賛」「守山防災セミナー協賛」を行いました。また青少年奉仕活動として「愛知みらいフォーラム」へ寄付。国際奉仕活動として「カンボジア王立音楽大学へ音響器材」寄付をいたしました。そして、ロータリー財団並びに米山奨学会への特別寄付を実施いたしました。

不易流行の精神のもと、次の10年に向けて、弾力と活力のあるクラブとしてさらに精進してまいりたいと思います。

式典には田中正規ガバナーをはじめパストガバナー、地区幹事、ガバナー補佐そして多くのロータリークラブの皆様にご参集頂きました。また守山区長はじめ守山福祉協議会など多くの守山区の行政、諸団体またRCCの皆様もお招き出来ました。

50周年をここに迎えられましたのも、ロータリアン、そして関係各位のご支援、ご協力の賜物であり、深く感謝申し上げますとともに、引き続き倍旧のご厚情をこころよりお願い申し上げます、ご報告といたします。



名古屋守山記念式典並びに田嶋バストガバナー記念講演



記念祝賀会並びに寺井尚子記念コンサート



記念式典

あまRC45周年

あまロータリークラブ会長 高山 敏

平成26年4月19日(土)名鉄グランドホテルに於いてあまロータリークラブは「創立45周年記念式典」を開催致しました。小島ガバナー補佐をはじめ、豊島パストガバナー、松前パストガバナー、西尾張分区分会会長・幹事の皆様、また、姉妹クラブ台湾汐止RCからはメンバー並びにご家族総勢30名の方々に、ご来賓としてご臨席賜りました。

当クラブは、1969年6月16日25名のチャーターメンバーにより、津島RCをスポンサークラブとして、大竹初代会長の元、誕生致しました。創立にご尽力頂いた皆様に、心より感謝を申し上げたいと思います。

式典冒頭には栗本紗希(清元宗家より清元延榮紗希の名を許され人間国宝・清元榮三師に師事)の口上が披露され、来賓紹介、記念事業の発表、「あまRC45年の歴史」を映像観賞したのち、玉ノ井親方(元大関栃東関)とチャーターメンバーである田中清隆会員の相撲談義と厳かに執り行われました。

祝宴では、豊島パストガバナー、陳台湾汐止RC会長より御祝辞を賜り、神戸パストガバナーの乾杯のご発声により、華やかな宴の幕が開きます。当クラブピアニストによる生演奏、テーブルマジック、豪華なイリュージョンと会場はまさに春爛漫・宴の盛りに花が舞いました。名残り惜しい中、出席者全員が会場いっぱいの友情の輪をつくり、ロータリーソング「手に手つないで」を大合唱、閉会への運びとなりました。

今後も初心を忘れず、あまRCの伝統と歴史を守りつつ、次世代に向け、一步一步大切に活動をして参りたいと思います。ありがとうございました。



高山 敏会長



渡辺均創立45周年記念行事実行委員長

岩倉RC35周年

岩倉ロータリークラブ 会長 檜木 治幸

岩倉ロータリークラブは、江南ロータリークラブをスポンサークラブとして、1979年(昭和54年)4月18日に誕生しました。本年、創立35周年を迎えるにあたって、4月19日に犬山ホテルに於いて、記念式典を開催させて頂きました。片岡恵一岩倉市長、原田保男地区副幹事、丹羽司一ガバナー補佐、大島昭夫分区分幹事を始め、東尾張分区分各RCの会長の皆様、また姉妹クラブであります長野県・佐久RCからは19名もの皆さんに出席していただき、無事記念式典を終えることができました。ご来賓の皆様からは暖かいご祝辞の言葉を頂き、あらためて感謝とともに御礼申し上げます。

式典では、昨年9月に開催いたしました、裏千家第15代家元・千玄室大宗匠による記念講演会をはじめとする創立35周年記念事業や、クラブとして100%ポール・ハリス・フェロー・クラブを達成できたこと、また、当クラブが長年継続的に取り組んでおります、岩倉市内を流れる五条川堤の「ロータリー・ふれ愛の広場」整備計画などについてご報告させていただきました。

祝宴は、セントラルレディースカルテットの弦楽四重奏で始まり、荻野砂和子さん、田中真理奈さん二人のソプラノ歌手の歌声を楽しみながら、最後は全員で「手に手つないで」の合唱で和やかな雰囲気の中、終宴いたしました。

私ども会員一同、引き続き40周年、50周年に向かって更なるクラブ発展のため、努力を重ねていきたいと思っておりますので、ご指導・ご支援の程、お願い申し上げます。





第2回地区内クラブ青少年奉仕委員長会議 報告

地区青少年奉仕委員長 秋田 敬治

今回も例年通りRYLAセミナーと同時開催とし、各RCの青少年奉仕委員長の時間的負担（地区行事への参加回数）の軽減と、RYLAセミナー受講生&RC参加者（登録者）の募集人員確保に貢献できる様、配慮して設営致しました。

開催日時： 2014年3月22日（土） 9：00 登録受付
 10：00 RYLAセミナー開講式から参加
 10：30 基調講演「輝いて生きよう」講師 田中正規ガバナー
 11：40～ 昼食

* 12：30～16：00 地区内クラブ青少年奉仕委員長会議
 地区内9RAC「第五回ローターアクト会長幹事会」に体験参加

開催場所： 愛知県美浜少年自然の家 知多郡美浜町大字小野浦字宮後1-1

登録者数：
 ・地区役員（田中ガバナー、榊原地区幹事、稲垣地区副幹事、赤井ガバナー補佐、高須次期地区幹事） 5名
 ・地区青少年奉仕（IA・RA・RYLA・YEP）委員会委員 37名
 ・71RC青少年奉仕（IA・RA・RYLA・YEP）委員長 96名
 ・地区内9RAC会長、幹事&地区役員 25名
 計163名



田中ガバナー



田中ガバナーと坂上地区RA代表エレクト

開催趣旨： RIの常設プログラムであるインターアクトクラブ・ローターアクトクラブ・RYLA・青少年交換は単年度で完結するものではなく、継続性が求められる活動であり、各RCも地区も多年度に亘って取り組みを続けてきているのが実情であります。継続事業であるが故に、RC内だけでなく、外部の団体や関係者への責任も大きなものがあります。その活動の目的や理念を理解して実践し、青少年奉仕の各事業が実りあるものに成ることを期待しております。

今回の地区内クラブ青少年奉仕委員長会議はRI常設プログラムであるローターアクトクラブの、この地区での運営を支える「会長幹事会」（海外研修、3地区合同PJ、全国RA研修会+9RACの活動報告 他）に体験参加して、地区と9RACの活動の実態、そしてその運営について体感して頂く場と致しました。今回のこの試みがローターアクトクラブを提唱していないRCにとって、青少年奉仕活動の大きなインパクトとなり、今後この地区のローターアクトクラブ拡大の起爆剤になれば幸いです。

会議次第：	開会の辞・地区役員紹介	地区副幹事	稲垣 良次
	開会挨拶	地区青少年奉仕委員長	秋田 敬治
	ガバナー挨拶	ガバナー	田中 正規
	会議趣旨説明	地区RA委員長	寺本 善雄
	「第5回ローターアクト会長幹事会」		
		地区RA代表	河合あゆみ
	「地区内9RACの課題と今後の取組み」		
		地区RA次期委員長	西本 一幸
	閉会挨拶・講評	担当ガバナー補佐	赤井 知久
	閉会の辞	地区副幹事	稲垣 良次
	アンケート記入提出後、解散		



河合RA代表

会議総評： 各RCの青少年奉仕（関連）委員長の皆様には、遠方の地での、朝からの会議開催にもかかわらず、前年にも増して多数の登録ご参加を頂きありがとうございました。会場が手狭でご迷惑をお掛け致しましたが、3時間半に及ぶ「RA会長幹事会」に体験参加して、ローターアクトの真剣な討議を目の当たりにする機会が持て、RACへの理解が大いに深まったものと思います。後日参加者の皆様宛に（所属RC事務局経由で）会議議事録・アンケート結果を配信させていただきますので、是非ご確認下さい。RYLAセミナーのホストである常滑RCの皆様、地区RYLA委員会の皆様には、準備段階からご協力賜り、誠に感謝に堪えません。心より御礼申し上げます、ありがとうございました。



「地区RYLAセミナー報告」

2013-14年度地区RYLA委員会 委員長 谷山 芳和

第22回地区RYLAセミナーを平成26年3月22日～23日の2日間にわたり地区内より推薦されました高校生から30歳までの青少年男女と地区内青少年奉仕関連委員会委員・地区内ロータリアンを集め愛知県美浜少年自然の家にて、開催をいたしました。22日には地区内青少年奉仕委員会委員長会議も同別会場にて開催をされました。

セミナー登録者200名猶予の参加者により平成26年3月22日午前9時よりロータリアンが推薦青少年を同行して会場に受講生が続々と到着し会場内は若者の熱気であふれんばかり。午前10時に主管第2760地区ガバナー田中正規様の点鐘にて開講しました。セミナーテーマ『輝いて生きよう』サブテーマ「感謝の心で」をガバナー自らテーマについて受講生に理解をしやすいように優しく問いかけるような基調講演で始まりその後には100名猶予の青少年の受講生は6分科会に分かれ、テーマ・サブテーマについて受講生同士が討論しました。迷走するチーム、暴走するチームなどいずれの分科会も意見を纏めるのに苦労しつつ、ロータリアン（カウンセラー）からの指導RYLA学友会の助力を受けながら第1日を終了し、2日目の午前中にはそれぞれの分科会が試行錯誤を重ね発表に向けた準備を整え、午後の発表会には会場には多数のロータリアンも同席のもと寸劇を交えた発表をそれぞれの分科会が行い、和気藹々のうちに進行し、受講生それぞれが感動を心に残し、今後彼らがそれぞれのコミュニティーにおいてリーダーとして活躍する姿が覗えるような発表会となりました。

閉講式では田中ガバナーより受講生に終了書を授与し、今回のホストクラブ常滑RCより次回ホストクラブ一宮RCへRYLA旗が手渡されたのち点鐘にて全日程を終えました。

地区RYLAセミナーは地区ガバナーより地区RYLA委員会とホストクラブがお預かりしている事業です。本事業は青少年プログラムの中でも直接ロータリアンと青少年が関わりを持てる唯一の機会です。地区ガバナーのご理解とご援助により22回まで進んでまいりました。地区RYLAセミナーが末永く永久に続きますように地区ガバナーに切望するものであります。



第22回RYLA地区RYLA委員会 ホストクラブ





四地区合同、スキーイベントについて

中部名古屋みらいロータリークラブ 山田

3月20 - 22日にかけて、恒例のインバウンド、アウトバウンド、及び帰国生の参加による白馬スキーイベントがありました。2760地区、2630地区、2620地区と2600地区の4地区合同イベントになり、総勢140人となる一大イベントでした。

名古屋を出発の当日は生憎の雨模様。白馬では天気が好転すればと願いつつ、三重地区と我が2760地区のメンバーを乗せたバスは一路北へ。途中、中津川インターで飛騨地区のメンバーと合流。途中のサービスエリアでその地元グルメ、「ソースカツ丼」のお弁当を搭載、美味しいと評判でしたがバスの中はソースの匂いが充満…その後引き続き雨は止むこともなく白馬到着後も雪では無く、冷たい雨が降り続けていました。

到着後、バタバタしながら学生たちはスキーの準備。間もなくすると開会式が始まりました。2620地区のガバナーノミニーのご挨拶で開始が宣言。当地区の田中ガバナーからもご挨拶を頂き、充実した3日間の始まりを告げることとなりました。

早速雪山へと展開した学生達。雨の中白馬高校の生徒の皆さんをスキー、スノーボードの講師として付き添いを頂きつつも、流石の雪原の雨には大苦戦の様で、早々に退散の学生も。体の芯まで冷え切ったようでホテルの大浴場は超満員！湯船につかると、「あ〜」と雄叫びを上げながら温泉の暖かさに感激していました。

夕方はバイキングの夕食とビンゴゲーム。沢山の景品に学生たちは一喜一憂！食事を通して地区、国、年齢を超えた濃厚な親睦が繰り広げられていました。

さて、翌日。一晩で景色は一転！雪化粧どころかドカ雪に何もかも覆われて前日とは全く違う景色が目の前に！どうでしょう！一晩で50CM以上は積もったのではないのでしょうか？これが白馬の実力と思い知らされました。外に出てみると全てが白い雪に覆われ想像もつかない美しい世界が広がっていました。

学生たちも順次ホテルからスキー場へ。ドカ雪で一瞬にして頭はまるでソフトクリームに！そんな中ゴンドラで山頂をめざします。サラサラの新雪がどうやら昨日のシャーベットより上手く滑れる様。恐れながら滑っていた学生もちょっとスイスイいけているようです。フィンランドやスイスからの留学生たちはまさに水を得た魚の様！滑り始めたと思ったらみるみるうちにスピードを上げ、小さく見えなくなってゆきました。普段から雪と慣れ親しんでいるのでしょうかね。

さて、時も過ぎゆき、スキーも終了。温泉、そして夕食へ。

我が2760地区は、ただでは就寝できません！インバウンドは個別面接で近況を調査。アウトバウンドは現地で行なう自己紹介スピーチの最終仕上げ。特にアウトバウンドは今回が最後のプレゼンテーションチェックということもあり、委員やオブザーバーから厳しい指摘や激怒が飛び不甲斐なさから泣き出してしまうアウトバウンドの学生も。悔しさをぐっと堪えた唇を噛みしめメモを取る姿がとても印象的でした。こうした気持ちを感じることで成長して現地に派遣されても立派にミニ外交官として日本との交流をやり遂げて行く姿が感じ取れました。頑張れ候補生！そう心の中で応援せざるを得ません！

いろいろあった白馬スキー、3日目の最終日となってしまいました。早々に身支度をし、荷物をまとめ口





委員会報告

ビーへ集合して閉会式です。生憎とどうしても言いたいのは帰るだけの最終日の天気は、なんと快晴! 抜ける青空と降り積もった新雪のコントラスト! 美しいとしか言えません! そして閉会式を執り行いそれぞれのバスに分乗。帰路につきました。途中、松本城を見学。そしてバスは一路名古屋へ向けて南下。中津川で2630地区のメンバーを降ろし、名古屋到着後に解散。



候補生は今年からそれぞれ海外の派遣地へ。帰国生は進学などで愛知を多くが離れ、そしてインバウンドは7月にはそれぞれ帰国へ。スキーイベントを最後に束ねられていたものが一気に違う方向へ向けて散らばって行くことを思うと一抹の淋しさと白馬をクライマックスにこうして一堂に集合できたこと、委員やそしてガバナーもご参加いただきこの機会でしか集まれなかった貴重な機会を経験させて頂けた感謝。そして毎年大変なご苦勞をされてこの白馬スキーイベントを作り上げて下さっている白馬ロータリークラブの会長様始め会員の皆様の弛まない努力で毎年運営され、イベントが成功されている事への感謝を申し上げ、レポートを閉めさせていただきたいと思ひます。沢山の皆様の努力で、ここでしか束ねられない束がある事に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

2014-15年度地区研修・協議会のための指導者会議報告

地区副幹事 天野 正明

2014年3月30日13:00より名鉄グランドホテルにて2014-15年度の「地区研修・協議会のための指導者会議」がホストクラブである尾張旭RCの設営により開催されました。この会議は4月13日の「地区研修・協議会」のための準備会議であり、地区委員長始め、パストガバナーなど多くの役員が参加されました。



先ず全体会議では、地区方針「集まろう・語ろう・楽しもう」に基づく行動指針、即ち①行事への積極的参加②多様性の再認識③奉仕の理想と実践④会員増強が近藤ガバナーエレクトの熱い想いと共に示されました。

次に分科会別会議では、8分科会毎で各リーダーの下、当日の運営について協議されました。今年度は新企画として事前に83クラブの会長・幹事始め担当委員長に運営上「最も重視すること」「その実現についての課題」の2問提出をお願いしていただきましたので、収集された429通に対する回答の取扱いについても協議されました。

また、4月13日の「地区研修・協議会」の運営については、ガバナーエレクト、並びに尾張旭RCの意向により儀礼的な例会方式を改め、より実質的な会議とすることと致しました。即ち①本会議配席を従来の分区毎から分科会毎に変えたこと、②点鐘、国歌・ロータリーソング斉唱など例会方式の廃止③ガバナー引継ぎ・エンブレム・花束贈呈などの儀式省略④分科会の成果発表の追加など次年度「研修・協議会」の名に相応しいプログラムとして準備いたしました。





2014 - 15 年度地区研修・協議会報告

地区副幹事 天野 正明



2014-15 年度地区研修・協議会は尾張旭ロータリークラブのホストにより平成 26 年 4 月 13 日（日）、ウェスティンナゴヤキャッスルに於いて開催されました。

今年度は会議の名称が「地区協議会」から「地区研修・協議会」と変更になりました。開催趣旨であります R I ・地区方針の伝達のみならず「研修」をも重視しての改称であろうと思われます。そこでガバナーエレクト並びにホストクラブである尾張旭ロータリークラブの合意の下、運営を従来の例会スタイルを改めて、より実質的で新会議名に相応しい内容と致しました。即ち、①開始時間は例年 10:30 を 13:00 からに②例会スタイル（点鐘・国歌・ロータリーソング斉唱など）の廃止③各種儀礼（出席者紹介・ガバナー引継ぎ・エンブレム贈呈・花束贈呈など）の省略④8 分科会に於ける成果の発表などです。

また、従来の「ガバナーエレクト講話」をより積極的な「ガバナーエレクト所信表明」として位置付け、近藤ガバナーエレクト「私の思い」を「ロータリーに輝きを」のテーマの下、熱く語っていただきました。即ち地区方針「集まろう・語ろう・楽しもう」地区行動指針「行事への積極的参加・多様性の再認識・奉仕の理想と実践・会員増強」R I 戦略計画「クラブのサポートと強化・人道的奉仕の重点化と増加・公共イメージと認知度の向上」「基本理念」「ロータリー財団の未来の夢計画」「地区審議会及び立法案審議委員会について」「2014～2015 ガバナー賞」「サンパウロ国際大会への参加」「シドニー国際大会前までに、会長エレクトのロータリー財団への寄付」「7 月 1 日の会員数に対して 3 割以上の会員純増」、この中でも特に 11 月 1～3 日開催の「地区ロータリーデー」への協力・参加を強調されました。

また、従来の「ガバナーエレクト講話」をより積極的な「ガバナーエレクト所信表明」として位置付け、近藤ガバナーエレクト「私の思い」を「ロータリーに輝きを」のテーマの下、熱く語っていただきました。即ち地区方針「集まろう・語ろう・楽しもう」地区行動指針「行事への積極的参加・多様性の再認識・奉仕の理想と実践・会員増強」R I 戦略計画「クラブのサポートと強化・人道的奉仕の重点化と増加・公共イメージと認知度の向上」「基本理念」「ロータリー財団の未来の夢計画」「地区審議会及び立法案審議委員会について」「2014～2015 ガバナー賞」「サンパウロ国際大会への参加」「シドニー国際大会前までに、会長エレクトのロータリー財団への寄付」「7 月 1 日の会員数に対して 3 割以上の会員純増」、この中でも特に 11 月 1～3 日開催の「地区ロータリーデー」への協力・参加を強調されました。



各分科会に分かれての会議では、8 分科会夫々のテーマに則って進行されましたが、先述の「研修」の一環として、予め参加者より収集しておきました 2 問「最も重視すること」「その実現についての課題」に対してアドバイザーである地区委員長、パストガバナーから回答が示されました。分科会により取上げ方は様々であったようですが、「報告書」と共に、質問集と「主たる質問への回答集」を冊子として発行する予定です。今後も「地区研修・協議会」に於いてこのような「研修」機会が増える事を期待して報告と致します。





ローターアクト海外研修報告

地区 RA 代表 河合 あゆみ

ローターアクトでは海外のローターアクターと交流を深め、訪問先の伝統文化を理解することを目的として海外研修を行っています。

今年度は2013年11月16日(土)～17(日)に開催いたしました。例年木曜日～日曜日にかけて3泊4日の日程を組むことが多かったのですが、仕事の都合で参加できるメンバーが限られ、20名程度となっていました。今期はより多くの会員が参加できるよう、1泊2日で企画したところ倍の40名が集まりました。

訪問先は国際ロータリー第3750地区(韓国)です。韓国には毎年11月に『キムジャン』と呼ばれる時期があります。韓国人にとって食卓に欠かせないキムチを漬けるのに最適なシーズンのことで、企業によってはキムチを漬けるための休暇がもらえたり、ボーナスが出ることもあるそうです。

第3750地区ではこの『キムジャン』にロータリーファミリーで大量のキムチを仕込み、近隣の恵まれない方にお配りするというイベントを毎年行っています。今回の海外研修では、そのイベントのお手伝いをさせていただきました。

一方的な見学、訪問にとどまらず、海外のロータリアン、ローターアクターと協力して奉仕活動ができ、ローターアクトの精神たる『奉仕を通じての親睦』にとって最適な企画になりました。参加者にとっても、ローターアクトでしか経験できない貴重な時間になったと思います。

お忙しいところ私達を快く受け入れてくださった第3750地区の皆様には非常に感謝しています。このつながりを、今後も大切にしていきたいです。



イベントでキムチを作っているところ



景福宮にて、集合写真

次年度のための地区 RA 研修協議会

地区 RA 代表 河合 あゆみ

2014年4月20日(日)、吹上ホールにて次年度のための地区 RA 研修協議会を開催いたしました。

ホストクラブである名古屋熱田 RAC の提唱ロータリークラブより講師をお招きし、クラブ運営に役立つ講演をいただきました。同時に本協議会は今年度と次年度の橋渡しの場ですので、役職ごとに会長部門、幹事部門、地区行事实行委員長部門と分かれて引継ぎを行いました。役職につかない一般参加アクターには、先述の講師の先生の下でローターアクト活動への理解をより深めるためのワークショップを実施しました。

例年は午前中に開始し、お昼と挟んで夕方に終了するスケジュールでしたが、今回は新たな試みとして午後からの開始とし、夕方に懇親会を設けました。懇親会のテーブルも各役職別に指定することで、次年度の自分の職務に関する心配や相談をゆっくり共有する時間が持てたことと思います。各テーブルにはロータリアンの皆様にも同席していただき、アドバイスを受けることもできました。

また、アトラクションとして今年度入会の新入会員がはやくローターアクトに溶け込めるようなミニゲームも行いました。会員増強は入会がゴールと考えがちですが、そこはむしろスタートであり、入会後のフォローが非常に重要です。その意味において、有意義なプログラムだったと思います。長時間に渡り多数のロータリアンの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

末筆になりましたが、本協議会の開催にあたりご協力いただきましたすべてのロータリアン、ローターアクターの皆様にご心より御礼申し上げます。



開会式



会長部門の様子



2013/2014年度 VTTプロジェクト - 3780地区への医療研修チームの派遣

R I 第2760地区 VTT委員長 福田 哲三

財団VTT委員会では、去る3月8日から22日までフィリピンのケソン市（第3780地区）に医療研修チームを派遣し、現地の医療関係者に腹腔鏡手術の技術指導を行ってきました。

「未来の夢計画」におけるパイロット地区として過去3年間、グローバル補助金を使ったVTT事業を行ってきましたので、今回は4回目です。4年連続でグローバル補助金事業としてVTTを行うのは世界で当地区だけであり、しかも今回は現地で実際に医療行為を行うという初めての試みでした。そのために現地の臨時医療許可を取得したり、研修を行うケソン市立総合病院やケソン市政府とMOU（VTT事業協力に関する覚書）を交わすなど種々の新しい手続きが必要となりましたが、幸いケソン市長がロータリアンということもあり、すべての手続きを何とか間に合わせる事ができました。

現地では3780地区のVTT委員長ほか地区ガバナー、パストガバナーや各クラブのロータリアン達が熱心にサポートしてくれ、深く感謝です。竹山名古屋市立大学消化器外科教授をリーダーとする派遣メンバーも、強靱な忍耐力と熱心な指導で現地の医療関係者の知識・技術の向上に多大な成果を挙げていただきました。手術は当初の予定をはるかに超える22症例に達したほか、2日間のシンポジウムや2度の公開手術、地元テレビ局UNTVの「Rotary in Action」への生出演など内容豊富な研修となりました。

田中ガバナーも3月15日から18日まで視察訪問いただき、ケソン市庁舎での歓迎セレモニーへの出席、研修先病院でのUNTVのインタビュー、さらには連日にわたる地元ロータリアンたちの歓迎ディナー出席など、両地区の親睦交流に大いに活躍いただきました。ちょうど昨年11月の台風Yolanda被災者への3780地区の支援事業「Rotary Care Center」に当地区から義援金500万円を寄贈協力しており、今回のVTT事業によって両地区の深い縁と友情は確かなものになりました。担当のパストガバナーからは支援事業の現状について田中ガバナーに丁寧な説明が行われました。

最後になりましたが、鈴木財団委員長ほかVTT委員会の原野さん、内田さん、加藤さん、小島奨学基金・学友・平和フェローシップ委員長たちも現地まで応援に駆けつけていただき本当にありがとうございました。VTT委員長として、1年以上の準備を経て派遣メンバーと共に2週間の研修に参加できたことは幸せなことでした。



D3780 フランシス・リベラ DG とともに
歓迎ディナーにて



QCGH でのシンポジウム



UNTV の番組 Rotary in Action に
生出演



ケソン市庁舎にて
(右から二人目がバウチスタ市長)



手術の様子



国際ロータリー第2520地区大会参加を振り返って

名古屋東RC 地区被災高校生支援委員会 副委員長 浜 洋一

ソメイヨシノ、枝垂桜、桃等、春を告げる花々が一斉に咲き誇り、東北は宮城、岩手両県をまたぐ第2520地区の地区大会に参加した我々を気持ちよく迎えてくれました。

我々一行は、4月19(土)20(日)21(月)の日程で、田中正規ガバナー夫妻を筆頭に小原久和・大橋昭治・松井昭アドバイザー、柳澤幸輝直前地区幹事、本多 満委員長・岡本光生副委員・笹野暢宏・松田茂樹、尾張中央RC平岩慎次会長そして私の総勢12名で杜の都仙台に降り立ちました。

まだ少し肌寒い仙台駅から会場の仙台国際ホテルに町並みを見ながら皆で散歩し、チェックイン。早速、被災高校生支援の経過報告会議開催・・・旅行気分から皆ロータリアンの顔に変身！第2520地区からは、小野寺則雄直前ガバナーはじめ支援現地事務局の二戸RCの方々、支援先地域の大船渡西RC陸前高田RC山田RC釜石東RC宮古RC大槌RC及びNPOのJETOみやぎの方々が参加され現状報告や今後の方針、予算報告等行いました。

会議後、参加者全員で懇親会を行い仙台の美味しいお酒を頂きました。翌日は、仙台国際センターにて行われた地区大会本会議に参加し、場所を変えて、大懇親会に参加してロータリー漬けの一日を過ごし、沢山の東北地区のロータリアンと深い絆を結んでまいりました。

翌月曜日は、小雨の中我々2760地区の皆様からお預かりしている支援金をお配りしている被災地で高校生の面倒を見てくれているNPO団体JETOみやぎの方の案内で被災現地視察・・・去年は岩手県の被災地訪問をさせて頂きましたので今回は宮城県仙台周辺です。この日は、昼食から帰路に着くまで2520地区の菅原裕典ガバナーノミニーの会社のバスで担当の千葉様の案内で、被災地めぐりと現地の被害状況等ご説明頂き大変お世話になりました。何度拝見しても津波や地震の凄さに心が破裂しそうになります。

又、大被害を受けられた名取RCの皆様にもお世話になり、被災地復興仮設店舗にてバナー交換や被災状況説明等頂き、全国のロータリアンの志によって仙台空港に完成した「一つの鐘(カリヨン)」の演奏で被災地の日でも早い復興を願い、奉仕の理想を演奏して頂きました・・・気が付いたら演奏と共に皆で口ずさんでいました。

余談ですが・・・名取RCのHPにこの模様が紹介されております。2520地区皆様の温かいご支援を後2年間しっかりと被災高校生を支えに行きながら自分達も勉強させて頂きたいと改めて思った3日間でした。



第2520地区・第2760地区
合同委員会風景



第2520地区・第2760地区
合同委員会 集合写真



荒浜地区「東日本大震災慰霊之塔」にて



全国のロータリークラブからの寄付
仙台空港「一つ心に鐘(カリヨン)」にて



WFF ワールド・フード+ふれ愛フェスタ 決算報告書

地区幹事 榊原 勝俊
WFF実行委員長 福田 哲三

WFF（ワールド・フード+ふれ愛フェスタ）の決算報告が大変遅くなりました事をお詫び申し上げます。理由はR Iからの公共イメージ向上の補助金 15,000 ドルが未収となっておりますが年度も終わりに近づいており未収のまま決算報告をさせていただきます。

チケットの販売 4,635 枚、協賛会社 52 社からの協賛のお陰をもちまして約 5 万人もの多勢の方に参加頂き成功裡に終える事ができました。ここに厚く御礼申し上げます。

【収入】

収入	金額	備考
通帳開設時入金	1,000	
公共イメージ補助金	1,500,000	未収
地区補助金	500,000	
チケット売上	9,410,000	
広告協賛	3,422,500	
出店料（保険料含）	1,523,500	
和合 RC 飲料ブース売上	477,300	
似顔絵コーナー雑収入	24,020	
ドリンク売上	840,000	
CD 売上	191,000	
募金箱	206,045	
和合 RC ニコ BOX	26,102	
決算利息	251	
収入合計	18,121,718	

【支出】

支出	金額	備考
出店（飲食）	4,382,720	(15,120) 振込手数料
出店（物販）	1,497,490	(18,760) 振込手数料
設営	3,412,849	(14,910) 振込手数料
返金振込手数料	3,990	
通帳開設時入金分返金	1,000	
事務局残業代	314,040	
支出合計	9,612,089	

【収支】

収支	8,509,629
-----------	------------------

【収益金】

収益金	8,509,629
収益金内訳	
ポリオプラス広告費	932,413
大型看板費	5,880,420
東ヶ崎ダイアログハウス募金	50,000
カンボジア簡易水道プロジェクト費用	1,646,796



分区紹介

南尾張分区

分区幹事 中川 裕之

南尾張分区7RCは“知多は一つ”の合い言葉の基、ガバナー補佐・分区幹事を交えて、会長幹事会を年間7回開催しています。

8月のホストクラブは半田南ロータリークラブ、10月は常滑ロータリークラブ、12月は知多ロータリークラブ、1月は東海ロータリークラブ、2月は大府ロータリークラブ、4月は東知多ロータリークラブ、そして6月は半田ロータリークラブが、新旧合同の会長幹事会を開催します。また、12月、1月、6月は、会長幹事会后、懇親会も開催され、親睦を深めています。

会長幹事会では、近況報告を含め、その時々議題を話し合い、一つ一つ問題を解決していくよう努めています。また、ロータリークラブの活動を広く一般の方に知っていただくため、広報活動にも力を入れています。その一環として、2月20日の会長幹事会は大府市の大府商工会議所にて開催され、ロータリー創立記念日にあたる23日を前にポリオ（小児まひ）撲滅運動について話し合い、これからも引き続き力を注いでいくことを確認しました事を中日新聞社に取材していただき、2月22日の中日新聞知多版に掲載されました。また各クラブとも独自の奉仕活動・地区財団補助金事業、WCS活動等 新聞掲載、メディア取材など積極的に広報活動を広げています。



中日新聞（2月22日）

西三河分区

ガバナー補佐 神谷 正康

桜の季節も終わり、目に青葉の季節になりました。西三河分区のカバナー補佐を拝命して、分区の各クラブを訪問したり会長・幹事さんとお話したりしましたが、分区のそれぞれのクラブが素晴らしい活動をしています。各クラブとも創立以来の伝統を引き継ぎ、補佐訪問時のクラブ例会の流れ、クラブ協議会の進行の仕方などにクラブの特長があり、それが西三河分区に3つの流れがあるように私は感じました。

名古屋RCを親クラブとして創立され、本年度60周年記念例会を行い、西三河分区の重鎮クラブである刈谷RCは碧南RC、高浜RC、知立RCを排出された1つの流れを感じます。これらのクラブの例会は、どちらかといえば厳格な格式のある例会であります。また、野村パストガバナーを地区に出されたこともあり地区に委員も多く派遣され、地区貢献度も大であります。

安城RC、三河安城RCが2つ目の流れです。安城RCは岡崎RCを親クラブとして誕生し、地区大会の開催、地区委員の派遣など、JRで名古屋まで近いこともあり地区に対する貢献が高いと感じます。

最後に、本年度カバナーのホームクラブである西尾RC、そして西尾一色RC、西尾KIRARARCの流れがあります。西尾RCは蒲郡RCを親クラブとして誕生し、名古屋に時間的に制約があり、地区に対しあまり積極的でなかったように感じられます。例会も地方の楽しいクラブの感じがします。今後、西尾RCを筆頭に地区に積極的に関与したいと思います。





文庫通信

319号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演他より

- ◎「戦国を生き抜いた知恵」 細川護熙 2013 7p (D.2650 地区大会記念誌)
- ◎「はやぶさプロジェクトの成果・教訓」 川口淳一郎 2013 4p (D.2820 地区大会記録)
- ◎「日本人の持つべき国家観について」 渡部昇一 2013 11p (D.2520 地区大会記録誌)
- ◎「世界の人々のために」 緒方貞子 2013 5p (第 11 回日韓親善会議報告書)
- ◎「これからの両国のきずな」 山東昭子 2013 5p (第 11 回日韓親善会議報告書)
- ◎「軍艦『筑波』－偉大なる航海(上)(下)」 岡村健 2013 23p (福岡南 RC 月報)
- ◎「『がんばらない』けど『あきらめない』」 鎌田實 [2013] 1p (D.2840 地区大会報告書)
- ◎「これからの生き方」 山田法胤 2013 2p (D.2700 地区大会の記録)
- ◎「人が動き街が動く～私のリーダーシップ論」 セーラ・マリ・カミングス [2013] 21p (D.2800 地区大会記念誌)
- ◎「平和と命」 深川純一 2013 20p (第 35 回青少年指導者育成セミナー報告書)
- ◎「掃除実践 60 年の『人生と経営の哲学』」 鍵山秀三郎 2014 10p (D.2710 地区大会特集号)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2 丁目 6 番 15 号 黒龍芝公園ビル 3 階
 TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
 開館=午前 10 時～午後 5 時 休館=土・日・祝祭日



ロータリーの<ブランドの強化>を継続して推進しよう

地区総務委員会 副委員長 尾崎 隆爾

田中正規ガバナー年度も残すところ2カ月余となりました。改めて今、昨年7月スタート時のガバナー月信を読み返してみますと、ロンD. パートン会長は本年度のR Iテーマとして「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」を掲げ「真のロータリアンとなるかどうかは 皆さん次第である」と文章を結んでいます。

また、田中正規ガバナーは、このR Iテーマを受け「磨いて輝こう」をキャッチフレーズとして「ロータリーに積極的に参加し 自分と周りを磨き上げ 輝かしい人生に変えていこう」と呼び掛けています。

本年度のR I会長並びに田中ガバナーの方針から、私にはロータリークラブという組織は、ロータリアン一人ひとりがどのようにロータリークラブと向き合うかによって、その感じ方や評価が大きく変わってくるのではないかと思います。

さて、ここでご紹介する詩『自分の感受性くらい』の作者 茨木のり子女史(1926～2006年)は、私が住んでいる西尾市に深い縁があり、戦後における現代詩の代表的な女性詩人であり『わたしが一番きれいだったとき』『倚りかからず』などが有名で、教科書にも掲載されていたので、ご存知の方も多いかと思います。

詩集『自分の感受性くらい』 —1997年 花神社刊—

ばさばさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを
近親のせいにはするな
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもが ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ

足すことも引くこともないストレートな言葉で綴った詩であり、最後の「ばかものよ」とは自分自身に向かつての言葉であり、自分の感受性くらい自分で守り磨きをかける必要があります、人間の弱さと強さ、更には優しさが表れた詩であると思います。私にはこの詩がロータリーライフを含めた自分の生き方に対して、何かを示唆しているように感じられます。

最後になりますが、アメリカのアナハイムのガバナー研修会場には「入りて学び 出でて奉仕せよ」の言葉が掲示されているそうです。この言葉にも田中ガバナーの「磨いて 輝こう」と相通ずるものがあるように思われます。更に次年度2014～15年度R Iテーマは「ロータリーに輝きを」(LIGHT UP ROTARY)となり、近藤雄亮次年度ガバナーにスムーズにバトンタッチしていきたいと願っております。

ロータリアン一人ひとりがロータリーの原点に立ち返って、ロータリーの心を磨いて、世のためひとのため奉仕を实践し、輝くことがロータリーの<ブランドの強化>に繋がって行くものと思います。「継続は力なり」の言葉通り、ロータリーの<ブランドの強化>の推進につきまして、引き続き次年度に向けて皆様方のご協力を心からお願い申し上げます。



広報
委員会の

よもやま話

No.22

〔第2760地区広報委員会〕

委員長：尾本 和弘(名古屋東南) 副委員長：佐久間 武美(雑誌)(豊橋北) 池森 由幸(Web)(名古屋千種) 田中 粹人(管理)(豊川)
委員：岡田 邦義(岡崎) 堀尾 明史(尾張中央) 堀田 力男(津島) 松崎 美都子(名古屋守山) 城野 八代江(名古屋名駅)
志水 ひろみ(春日井) 坂野 弘(岡崎東) 糸井 学(名古屋みなと) 杉浦 令淑(名古屋大須) 平野 好道(名古屋瑞穂)

田中年度も終わりに近づき「よもやま話」も残すところ2回となりました。今月は「RI→地区→クラブ→会員」への情報伝達・認知の違い、温度差についてお話しします。『RI ロンD. バートン会長は、ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES (ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を)をテーマに選ばれ、それを受けてRI第2760地区田中正規ガバナーは、磨こう 輝こう をキャッチフレーズとされました。何れも会員自らの強い意志によるロータリー活動とその変革を求めたキャッチフレーズです。7月に広報委員会の新しい年度が始まり、広報クラブ委員長会議に向け講師に「ロータリーの友」二神典子編集長(RI公共イメージ支援グループ・ロータリー公共イメージ・コーディネーター)との会話で「公共イメージと認知度の向上」について講演をしたい、今、RIから「公共イメージ認知度の向上」についての手紙を英文翻訳していること、8月にRI会議に行き本筋を聞いてきますとの事でした。

広報クラブ委員長会議での講演で、国際ロータリーの戦略計画には優先項目が3つあります。「クラブサポートの強化」「人道的奉仕の重点化」、そして「公共イメージと認知度の向上」です。

「公共イメージと認知度の向上」とは、ロータリーについて知っていただき、そして良いイメージを持っていただくということです。その具体的な目標として「イメージとブランド認知を調和させる」「行動を主体とした奉仕を推進する」「中核となる価値観を強調する」「職業奉仕を強調する」「クラブにおけるネットワークづくりの機会ならびにクラブ独自の主な行動について周知を図るように奨励する」の5つが掲げられ講演をしました。

RI、地区でもスタートのPETS時に「公共イメージ」は有りましたが、「認知度の向上」を掲げていませんので各クラブの「会長方針・重点事項」に掲げられたクラブは無いと思います。田中ガバナーは当地区の「公共イメージと認知度の向上」に大変努力され、いろいろな事業を实践されました。市民に対して、「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」「ロータリーを認知してもらおう、ポリオ撲滅に関するPR記事を中部経済新聞に全面カラー広告」「名駅西口の大型ビジョンでロータリーの誕生日を放映」で認知度の向上を实践しました。

第1回「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」(WFF)では、地区委員会での活動が8月30日に1回目の会議があり、この時点で地区委員長もWFFの概要がわかりました。名古屋和合RC(福田実行委員長)がカナダ・トロントでのロータリークラブ在籍時代の経験を生かしてRIに補助金申請し、7月下旬に「公共イメージと認知度の向上」の補助金として2万ドルを日本で始めて頂いた事業となり、名古屋和合RCと田中ガバナーとの地区の共同事業として開催されました。3ヶ月余りの準備期間で成功裡に終わり2760地区として、市民にロータリーの認知度向上の素晴らしい実績が出来ました。第2回「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」(WFF)の開催に向け動き始めました。第2回WFFは補助金なしの地区単独事業になります。次年度笹橋広報委員長以下、地区委員会、83クラブの協力のもとロータリアンが一丸となって進めなければなりません。ロータリーを一般市民に知って頂く良い機会です。第1回は5万人からの人出があり、出展されて方は商売として良かったと思います。主催者側は多くのロータリアン・ローターアクト・インターアクト・ステージに出られた方々、これらはボランティア、手弁当から成り立っています。人件費に換算したら成り立ちません。市民が楽しみながらロータリーを認知してもらおうための企画です。冠事業、「カンボジアへの水事業支援基金」の資金は当日の市民からの寄付とチケット販売からのご協力金しかありません。1枚でも多くご購入頂けるようご協力ください。

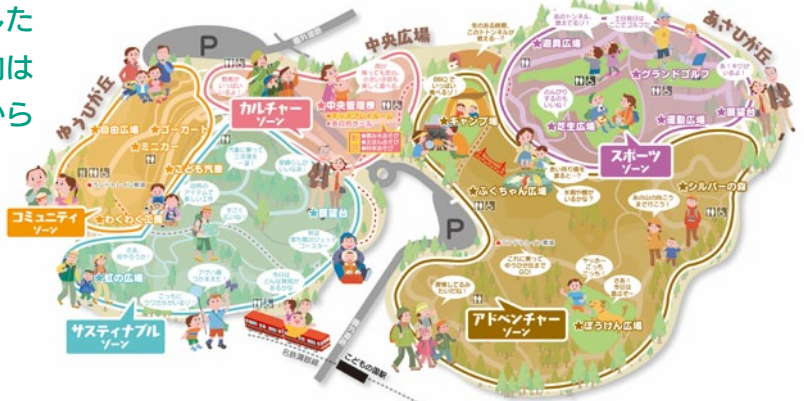


愛知こどもの国が生まれ変わる

里山自然を活かしてワクワク感を大切にしたい遊び方や行事を実現していくために、園内は5つのエリアにゾーニングされる。これから1年程かけて整備を整えていくという。



アサギマダラやカブトムシなどにも出会える



未来予想図 5つのエリアにゾーニングされる

1974年（昭和49）に誕生した愛知こどもの国は、これまで公益財団法人 愛知公園協会が運営してきたが、近年、運営の問題などで存続が危ぶまれてきた。そして愛知県は運営を打ち切る方向で決定した。しかし西尾市は「皆様から愛されている素晴らしい施設を何とか残せないか」と存続を模索してきた。そこでNPO法人 フロンティア西尾と西尾市が連携して運営に携わることとなり、今後のあり方を見直し、新しいこどもの国として4月1日から生まれ変わるようになった。

NPO法人が運営することになった「新生こどもの国」は、どのように生まれ変わるのだろうか。「自然を活かした体験活動ができる場所を提供したい、そのなかで子供達や親、おじいちゃんおばあちゃんも含めた多世代交流ができるような場所にしたい、地域との連携も大切にしていきたい。この3つの目的を達成するために参加型の行事や環境づくりを急ピッチで進めているんです」と目を輝かせて語る新理事長の赤堀氏。

たとえば、これまでは与えられた遊具や広場で遊ぶことが基本だったが、雑木林の中などをワクワクしながら探検できるような里山自然ならではの園内環境をつくっていききたいという。また、雨の日でも利用できるように積み木や絵本、科学の広場を常設。地元の漁師さんと一緒に地引き網を体験したり、地元の高産・農産物を使ったデイキャンプなど、今までできなかったことをどんどんやっていきたいという。まずは新しくなったホームページをチェックしてみよう。今年の秋には開園40周年記念イベントも開催予定されている。





会員数及び出席報告 (平成26年3月末)

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	3月 出席率
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2014年 3月末日		3月	累計	3月	累計		
南尾張分区	半田	61	3	63	4	0	5	1	3	4	100.00%
	常滑	40	0	39	0	0	1	0	2	3	100.00%
	東海	47	1	53	2	0	6	0	0	4	98.09%
	東知多	20	1	19	1	0	0	1	1	4	75.73%
	半田南	37	1	40	1	0	4	1	1	4	93.13%
	知多	28	2	28	3	0	1	0	1	5	86.47%
	大府	18	1	17	0	0	0	0	1	4	66.55%
	7RC	251	9	259	11	0	17	3	9		88.57%
	西尾張分区	一宮	86	1	91	1	1	7	0	2	4
津島		67	4	68	4	0	3	0	2	3	97.40%
尾西		21	1	21	1	0	0	0	0	4	96.43%
一宮北		40	2	39	2	0	0	0	1	3	92.79%
稲沢		56	0	55	0	0	2	0	3	4	88.41%
あま		79	2	80	2	0	3	0	2	5	100.00%
名古屋清須		27	0	28	1	0	3	0	2	4	90.27%
尾張中央		33	0	33	0	1	1	0	1	4	86.95%
一宮中央		42	7	44	7	0	2	0	0	4	95.45%
9RC	451	17	459	18	2	21	0	13		93.83%	
東尾張分区	瀬戸	62	5	64	6	0	3	0	1	4	96.69%
	犬山	59	1	60	0	0	4	2	3	4	100.00%
	江南	48	1	50	0	1	4	1	2	4	90.21%
	小牧	25	1	24	0	0	4	2	5	4	94.92%
	春日井	51	2	58	2	0	8	0	1	3	98.83%
	尾張旭	25	1	26	1	0	2	0	1	3	94.87%
	名古屋空港	53	1	56	1	0	3	0	0	5	98.35%
	瀬戸北	70	8	67	7	0	0	0	3	4	100.00%
	岩倉	16	1	16	1	0	0	0	0	3	93.75%
	名古屋城北	31	4	31	4	0	2	0	2	4	89.60%
	愛知長久手	20	5	20	5	0	1	0	1	3	93.33%
	11RC	460	30	472	27	1	31	5	19		95.50%
西名古屋分区	名古屋	185	0	187	0	1	8	1	6	4	86.87%
	名古屋西	92	0	97	0	1	9	3	4	4	86.55%
	名古屋南	117	0	123	0	2	7	0	1	4	96.19%
	名古屋みなと	68	0	71	0	0	3	0	0	3	100.00%
	名古屋東南	81	7	84	6	0	10	3	7	4	83.68%
	名古屋中	133	0	132	0	2	7	1	8	4	96.46%
	名古屋瑞穂	64	0	62	0	0	1	0	3	4	98.05%
	名古屋大須	62	7	61	6	0	2	0	3	4	92.54%
	名古屋栄	78	0	83	0	1	7	0	2	4	94.24%
	名古屋名南	55	7	56	8	0	2	0	1	4	90.05%
	名古屋名駅	80	6	86	8	1	11	2	5	4	97.33%
	名古屋丸の内	41	4	45	6	0	6	0	2	4	95.09%
	中部名古屋みらい	24	7	24	7	0	0	0	0	4	34.38%
	13RC	1,080	38	1,111	41	8	73	10	42		88.57%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	3月 出席率	
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2014年 3月末日		3月	累計	3月	累計			
東名古屋分区	名古屋北	91	0	92	0	0	4	1	3	3	97.61%	
	名古屋東	83	0	86	0	0	4	1	1	5	90.86%	
	名古屋守山	49	2	47	3	1	2	1	4	4	93.97%	
	名古屋和合	103	0	106	0	0	5	0	2	3	86.30%	
	名古屋名東	61	8	62	8	0	2	0	1	4	91.74%	
	名古屋名北	37	4	38	4	0	1	0	0	4	99.31%	
	名古屋千種	36	2	40	3	0	6	1	2	4	98.59%	
	名古屋昭和	51	1	52	2	0	5	0	4	5	95.34%	
	名古屋錦	33	10	32	10	0	0	0	1	4	84.82%	
	名古屋東山	33	4	33	4	0	2	0	2	4	93.94%	
	名古屋葵	20	0	20	0	0	1	0	1	4	65.00%	
	名古屋アリス	33	12	34	13	2	3	0	2	4	74.86%	
	12RC	630	43	642	47	3	35	4	23		89.36%	
	東三河分区	豊橋	118	3	117	3	0	2	2	3	4	92.94%
		蒲郡	57	0	60	0	0	3	0	0	3	91.26%
		豊橋北	77	4	75	4	0	2	0	4	4	96.24%
		豊川	71	1	70	1	0	1	1	2	4	94.36%
田原		45	1	46	1	0	3	0	2	4	94.64%	
豊橋南		58	0	57	0	0	2	0	3	5	94.91%	
新城		44	1	44	1	0	0	0	0	3	84.47%	
渥美		32	0	34	0	1	2	0	0	5	91.79%	
奥三河		15	3	15	3	0	0	0	0	4	91.07%	
豊川宝飯		57	3	54	2	0	1	1	4	4	98.96%	
豊橋ゴールデン		63	1	65	2	0	3	0	1	3	95.89%	
田原パンフィック		49	2	49	2	0	1	0	1	5	82.67%	
豊橋東		43	0	42	0	0	1	0	2	4	87.80%	
13RC	729	19	728	19	1	21	4	22		92.08%		
西三河中分区	岡崎	81	3	82	3	0	4	1	3	4	100.00%	
	豊田	85	0	92	0	1	8	1	1	4	99.43%	
	岡崎南	95	2	94	2	1	6	0	7	4	99.72%	
	豊田西	96	1	95	1	1	5	0	6	4	97.43%	
	岡崎東	60	0	62	1	0	5	0	3	3	95.81%	
	豊田東	73	0	76	0	0	4	0	1	4	92.53%	
	岡崎城南	72	0	77	0	0	5	0	0	3	95.55%	
	豊田三好	21	0	20	0	0	0	0	1	4	92.02%	
豊田中	42	6	42	6	0	1	0	1	3	93.33%		
9RC	625	12	640	13	3	38	2	23		96.20%		
西三河分区	刈谷	95	4	95	4	0	3	1	3	4	100.00%	
	安城	58	4	61	4	1	3	0	0	3	90.96%	
	西尾	75	2	75	2	0	0	0	0	4	90.33%	
	碧南	63	3	69	3	0	7	0	1	4	99.26%	
	西尾一色	29	0	26	0	0	2	1	5	4	89.57%	
	高浜	34	2	34	2	0	0	0	0	3	100.00%	
	知立	61	0	63	0	0	4	0	2	4	100.00%	
	西尾KIRARA	58	1	58	1	0	1	0	1	3	100.00%	
	三河安城	63	6	63	6	0	1	0	1	4	95.94%	
	9RC	536	22	544	22	1	21	2	13		96.23%	

	クラブ	平均
平均出席率	83	92.54%

地区内クラブ数 83RC	2013年7月1日会員数	4,762名	内女性 190名	増加会員数(累計)	257名
	3月末会員数	4,855名	内女性 198名	減少会員数(累計)	164名
	当月平均出席率	92.54%		差引純増会員数(累計)	93名

3月	入会	退会	純増
	19名	30名	-11名